環境負荷物質削減の取り組み

基本的な考え方

工場からの流出、放出を発端とする水質汚濁、大気 汚染や土壌汚染などは、周辺の地域社会にとって脅威 になります。ミネベアグループでは、地域との共存が事 業活動において不可欠であるとの考えから、環境負荷 物質の削減に取り組んでいます。

2013年度の取り組み結果

ミネベアグループでは、各国、各地域の環境法令を 遵守するために、法令基準を上回る自主基準を設け、 日々の監視を行っています。2013年度は、環境法令や 自主基準に違反するような事象はありませんでした。 さらに、工場からの漏えいや異臭、騒音、振動などの異 常がないか確認する環境パトロールをすべての工場で 実施し、周辺地域へ与える影響についても監視してい ます。

事業所における取り組み

●工場排水の浄化

ミネベアグループでは、排水を河川に放流する際、工 場保有の排水処理設備で使用済みの排水を基準値内ま で浄化しています。また、各国および所在地域の法令に 従って、排水中のpH*1 (ピーエッチ)、COD*2 (化学的 酸素要求量)、BOD*3(生物化学的酸素要求量)、 SS^{*4}(懸濁物質量)、ノルマルヘキサン抽出物質^{*5} (油分)などを定期的に測定し、自主的に工場排水の監 視を行っています。

2013年度、各工場の監視項目に異常は見られません でした。また、これらに関係する苦情も寄せられていま せん。

- ※1 pH(ビーエッチ) 酸性かアルカリ性かを示す尺度。pH7が中性。7より小さいほど酸性が強く、7より大きいほどアルカリ性が強い。
- ※2 COD(化学的酸素要求量)
- 水中の有機物(汚れ)を酸化剤によって酸化するのに消費される酸素量。BOD測定と比べ短時間に測定できるが、信頼性は劣る。CODは一般的に海、湖沿への排水管理に用いられる。
- ※3 BOD(生物化学的酸素要求量)
 - 水中の有機物 (汚れ) を微生物が分解するときに必要とする酸素量。BODが大きいほど水質は悪い。 測定に数日を要する。BODは一般的に河川への排出水監視に用いられる。
- 中に浮遊している物質の量。数値が大きいほど水質汚濁が著しい。

ノルマルヘキサン抽出物質

くい油や洗剤などを、ノルマルヘキサンという薬品で抽出した物質。当報告書で

●廃棄物処理場の視察(日本、タイ、中国ほか)

各工場、事業所から排出される廃棄物には、それぞ れの工場、事業所内で再使用、再利用が難しいものが あります。こうした廃棄物は廃棄物処理業者に委託し、 処分しています。

ミネベアグループでは信頼できる処理業者を選定 し、処分を委託するとともに、定期的に処分場に赴き、 その処理、管理状態などの視察もしています。日本国 内においては、各工場の廃棄物処理・管理担当者により 業者、処分場の現地確認チェックシートを統一化し、利 用を開始しています。廃棄物の処理工程において、土 壌、水質、大気などへの環境汚染を引き起こさないよ う、今後も処理業者と協力し、取り組んでいきます。



日本の廃棄物処分業者の視察

●工場排水ゼロシステムの運用(タイ、中国)

ミネベアグループには製品の加工工程で大量の水を 使用する工場があり、排水の削減に取り組んでいます。 工場で使用された水は、各国各地域の環境法令基準値 以下まで浄化され、放流されますが、それでも地域周辺 への環境影響はゼロとは言えません。そこで、当社グ ループでは水使用量の多いタイ、中国の丁場において 「工場排水ゼロシステム」を導入し、放流する工場排水 とその環境影響のゼロ化に取り組んでいます。

このシステムでは、従来、浄化・放流していた排水をさ らに浄化し、全量を工場内の使用水に戻すことで、排水 をなくします。現在、「工場排水ゼロシステム」はタイの バンパイン工場、アユタヤ工場、中国の上海工場、西岑 工場で導入しています。

今後の課題・目標

ミネベアグループは、引き続き国内外の環境法令を遵 守した事業活動を行うとともに、過去に発生させた環境 汚染について、浄化作業を進めていきます。